

働くわたし

三田市議会を **X** もっと身近に

こんなコトを
しています。

市議会

さんだ市議会だより「つなぐ」は、議会と市民の皆さんを「つなぐ」広報誌でありたい。できるだけいろいろな現場に出て行き市議会の活動を伝え、皆さんの声をお聞きし、議会に生かします。

今回は「はたらくひと」をテーマに三田市で働く世代の代表として北摂三田テクノパークで働くみなさんに三田市や市議会・議員の印象や「つなぐ」の感想などを、ストレートにお聞きしました。さて見えてきたのは…

三田市の印象は？

「三田市は東京では『みた』と読まれる…。魅力をもっと発信してネームバリューのアップを」

「以前住んでいた市は交通の便が良かったので、テクノパークに通うのにバスを乗り継ぐとき不便と感じます。」



三田牛は全国的に知られ、ちゃんと「さんだぎゅう」と読んでもらえるのに、三田市そのものの知名度はまだまだ高いとは言えません。知名度を上げ、魅力を広く発信することは三田市への来訪者や定住人口の増につながり、まちが活性化します。委員会活動などを通じて市の広報に取り組んでいきます。

市政や議会ってどう？

「市役所は、いろいろと努力し、調査しているようですが、アンケートに答えても、結果までに時間がかかったり、調査はしても実際には改善されなかったり…。」



市民の代表として行政を きっちりと監視して意見してほしい。

「議員さん一人ひとりが市民の代表として行政をきっちりと監視して意見してほしい」
「通勤バスの時間やルートを見直すよう応援してくれた。」



調査した結果の集約や、傾向の分析などに時間がかかるのは事実です。市議会の委員会でも、たくさん調査研究し、最も良い方法を慎重に検討をしています。「つなぐ」やホームページで、途中経過や進行計画などをお知らせします。市役所への情報確認も続けていきます。

新しくなった「つなぐ」はどう？

「写真が多くなり読みやすくなった」
「もうすぐ子どもが生まれるので、待機児童や、ワクチン接種の動向を気にしながら読みました。」
「コンビニなど、気軽に手に取れるところにも置いてほしい。タイトルが見えるように。」



「正直、知りませんでした」
「新聞折り込みは広告に混ざって気づかない人が多いかも」



残念💧読んでもらってナンボの市議会だより。紙面づくりはもちろん、ご意見のとおり主要スポットに置



いていただき、手にとってもらえる機会を増やす工夫も大切だと感じました。開かれた市議会をめざす有効なツールの一つとして、もっと多くの人に読んでいただけるようがんばります！

「ここに載っている一般質問は、いつ、どこでおこなわれるんですか？」



定例議会は年4回（3、6、9、12月）開会し、この1日目に市が提案する議案を確認し、2日目以降に議員からの一般質問（市役所に対し質問や提案）を行います。一般質問には「代表質問」と「個人質問」があり、代表質問は各議員が所属する会派（党）を代表する質問で、「個人質問」は個々の議員からの質問です。市長や市の部署の代表が質問に答えます。最終日に全ての議案を表決（可決・否決の決定）し、閉会となります。

この一般質問のやりとりは市のホームページでも確認できますので、ご覧ください。

この他にも紹介しきれないほどたくさんのお話をお聞きすることができました。勤務地のテクノパークはもちろんのこと、三田市を良くするために何が課題で、どうすれば理想を実現できるのか、皆さんが真剣に考え、取り組んでおられました。



北摂三田第二テクノパーク

着々と

完成に向け、造成中

大型産業団地「北摂三田第二テクノパーク」の開発が進められています。北摂三田テクノパークの北側に隣接し、開発面積は約61ヘクタールと大規模で、舞鶴若狭自動車道のインターチェンジに近接するなど交通アクセスにも優れ、近隣の大規模なニュータウンがあることなどから雇用拡大、地域経済の活性化に大きな期待が寄せられています。平成22年に大和ハウス工業株式会社が事業認可を受け、現在造成工事を行っています。市議会としても市と一体となって、企業誘致活動を積極的に行っています。



総面積：約97ヘクタール

企業誘致ゾーン：約61ヘクタール

第一期、第二期に分け造成を行います。優れた交通アクセスを有し、工場、物流施設、研究所など多彩な事業に対応します。

保全ゾーン：約36ヘクタール

事業区域内北部には上血池湿原があり、周辺に生息する貴重な動植物の生態系を守っていく区域を一体として保全します。

事業者：大和ハウス工業株式会社

